

平成 22 年 11 月 16 日

株式会社 リクルート
執行役員 旅行カンパニー
カンパニー長 富塚 優 様

国際観光旅館連盟九州支部
支部長 中 原 國 男

システム利用料改定の実施猶予について（要請）

平素から、御社が運営する「じゃらんネット」を活用した支部会員の集客活動に対し、格別のご支援・ご協力を賜っており、厚くお礼申し上げます。

当支部会員は、昨今の厳しい経済状況の中、閉館を余儀なくされる施設も多々あり、現在の会員数は約 1 1 0 軒であるが、それぞれ経営の安定を図るため、研鑽努力を続けているところであります。

しかし、世界同時不況からの長引く景気低迷や昨年 of 新型インフルエンザ、今年 of 口蹄疫の影響等もあり、これまで経験したことのない極めて厳しい経営環境を強いられており、なかなか回復出来ない現状であります。

当然、自助努力の欠如も否めませんが、外的な要因に起因するところが大きく、経営者にとりまして苦悩の経営を余儀なくされております。

このような中、今般、御社が 2 0 1 1 年 4 月 1 日からシステム利用料改定を実施する旨の発表をされました事に遺憾に存じます。

改定内容を分析しますと、明らかな手数料アップであり、ほとんどの施設で負担増を招くこととなり、更なる経営の危機に直面することが明らかであります。更には、同業他社の手数料アップに追随することも危惧されます。

厳しい経営環境の中で、奮闘している経営者にこれ以上の追い討ちを強いることは許されません。

市場の拡大のためには、御社と各施設が良きビジネスパートナーとして、共に成長を果たしていくことが不可欠でありますので、本件に関しては、お互い十分な協議を行い、双方納得の上で、協調して取り組むことが望まれます。

今後の景気回復を切に望みながら、各施設が経営の安定と活気を取り戻す為には、今しばらく時間を要することが予想されます。

是非とも、その間、手数料改定の実施を猶予頂きたく、当支部会員を代表して切にお願いするものであります。